

令和6年度 指定管理施設検証結果報告書

PLAN	施設名	甲州市日川溪谷緑の村				検証日	令和7年7月3日	
	所管課担当名	観光商工課 施設管理担当		課長名	林 正樹		作成者名	水上 正英
	指定管理者	名称	株式会社 栄和交通					
		代表者	代表取締役 原田 孝典					
		所在地	山梨県笛吹市春日居町別田361番地1					
		指定期間	令和6年(2024年)4月 ~ 令和10年(2029年)3月					
	管理施設の概要	施設所在地	山梨県甲州市大和町田野3番地					
		設置目的	緑豊かな自然環境の保全及び活用を通じ、広く一般に保健と休養の場を提供するとともに、産業の振興に寄与するため、日川溪谷緑の村を設置する。					
		利用者	市民、市民以外	施設管理体制	5名	開館日時間等	○営業時間 ・1日利用の場合：9：00～17：00 ・宿泊の場合：15：00～10：00 ○休業日 ・4月、5月、6月、10月、11月（毎週火曜日・水曜日） ・7月、8月、9月（毎週水曜日） ・冬季休館：令和6年12月1日～令和7年3月31日まで	
	事業概要	サービス提供の内容						
指定管理業務		(1) 緑の村施設の利用申請の受付及び利用許可等に関すること。 (2) 緑の村施設使用料徴収に関すること。 (3) 緑の村施設利用料の徴収事務に関すること。 (4) 施設利用にあたってのサービス、指導に関すること。 (5) その他の日常業務		(6) 施設の維持、管理及び修繕（大規模な修繕は除く） (7) 備品等の維持、管理及び修理（大規模な購入及び修理は除く） (8) その他施設の管理に関すること。 (9) 業務の報告				
自主事業		(1) イベントの開催 (2) 広告・宣伝 (3) 自社路線バスの活用 (4) 自社ネットワークの活用						
DO	管理運営コスト推移(千円)	令和6年度(指定期間1年目)	令和7年度(指定期間2年目)	令和8年度(指定期間3年目)	令和9年度(指定期間4年目)	令和10年度(指定期間5年目)		
	予算	指定管理料	785					
		事業収入(BBQ・売店・食堂)	13,600					
		使用料(バンガロー、釣り)	7,550					
		その他収入	0					
	決算	管理運営経費	21,930					
		指定管理料	785					
		事業収入(BBQ・売店・食堂)	8,196					
		使用料(バンガロー、釣り)	4,790					
	指標	管理運営経費	10,873					
収支		2,898						
施設	施設の稼働状況	令和6年度(指定期間1年目)	令和7年度(指定期間2年目)	令和8年度(指定期間3年目)	令和9年度(指定期間4年目)	令和10年度(指定期間5年目)		
	施設利用者数(人)	5,232						
活動結果	・8月末の台風10号の影響による臨時休業や限られた人員の中でサービスの低下や食事故が起これないように、1日の利用客を抑制したこともあったことなどから、昨年度より利用者は減少したものの、やまと天目山温泉との一体管理による人件費削減の工夫やバーベキューの食材メニューの見直しによる経費削減等により、着実に収益を上げることができた。							
CHECK	評価観点	評価(5 4 3 2 1) 高 → 低	評価の説明					
	(1) 事業の運営	3	・協定書に沿った管理運営が行われた。 ・当該施設専用のホームページの運営及び自社路線バスや県内外の自社のネットワークを活用したパンフレットの備え付けやポスターの掲示を行い、誘客を図っていた。 ・食事処「天目庵」については、昨年度の利用需要が少なかったことや調理師資格を有する者の確保が難しかったことから休業としたが、調理設備はバーベキューの食材の準備等で有効に活用していた。					
	(2) 施設の維持管理	3	・日常点検、法定点検を着実に実施し、施設の適正な維持管理に努めていた。 ・8月末の台風10号の影響で、釣堀への土砂の堆積等があったが、市と連携する中で早期の普及に繋がるように対応を行った。					
	(3) 収入支出	4	・やまと天目山温泉との一体管理による人件費削減の工夫やバーベキューの食材メニューの見直しによる経費削減等により、着実に収益を上げることができた。					
	(4) 総合評価		総合評価の説明(施設所管課による一次評価)					
優良 良好 妥当 要改善 不適	良好	・昨年度より利用者数が減ったことに対しては課題は残るものの、施設の適正な維持管理が行いつつ、やまと天目山温泉との一体管理による人件費削減の工夫やバーベキューの食材メニューの見直しによる経費削減等の努力が行われ、結果として着実な収益の確保に繋がったことは高く評価できるため、良好と判断する。						
ACTION	評価結果に対する施設所管課の対応							
	当面の課題	・限られた人員の中でサービスの低下や食事故が起これないように、1日の利用客を抑制したこともあったが、スタッフのノウハウの蓄積も考慮し、1日の収容人数の目安を引き上げ、利用者数を増やしていく取り組みが行えるように指定管理者と連携していくことが必要である。						
課題解決への対応	・指定管理者との定期的なモニタリングや日々の連携の中で、当該施設を最大限に活用できる方法等について協議していく。協議の結果、効果が見込めるもので実行可能な対応については、市と指定管理者とのそれぞれの責任範囲に従い、実施していく。							
二次評価(公共施設活用等検討委員会での総括意見)								
・仕様書及び協定書のとおり適切に管理運営されている。台風による被害と、その中の施設運営についても市と連携し迅速に適切な対応ができていた。 ・施設利用者、事業収入は減少しているが、人件費削減の工夫やバーベキューの食材メニューの見直しによる経費削減等の努力が行われた成果として、収支はプラスとなっているので、引き続き経費削減を図りつつ、利用者拡大に努めていただきたい。 ・事業者の持つ資源やノウハウ、ネットワークを活用し、積極的な事業運営を展開していただきたい。								